

特色ある道の駅とは？

(日本共産党西条市議団)

問

平成24年3月末日現在で全国987か所の道の駅が整備されているが、多くの道の駅において赤字経営が続くといった指摘もある。また、農産物直売所の機能を持たせることにより、地元の農業協同組合が経営している産直市場との競合や生産の問題など、相互に悪影響を及ぼす恐れがある。

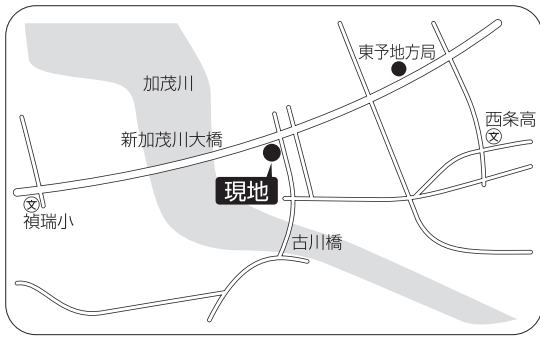
前回の計画案を中断していた中、今回の補正予算で(仮称)西条道の駅整備事業費215万4千円を計上し、事業を再開することになるが、その理由は何か。また、特色ある道の駅を整備するためには、前回案に示された水辺公園を併設することが望ましいと思うがどうか。

答

道の駅の機能は、安全で快適な道路交通環境づくりを行うとともに、地域振興に寄与し、災害時にも活用できる施設である。また、利用者の利便性が良く、地域振興に役立つ場所、そして交通安全上必要な箇所を設置するものであり、今

回の補正予算に(仮称)西条道の駅整備検討業務に係る事業費を計上している。

前回の計画案中断の経緯については、平成17年から(仮称)西条道の駅及び(仮称)古川水辺公園の整備に向けて進めてきたが、地域振興施設における管理運営や在り方が決まらなかつたことによるものである。一方、今回再開した理由としては、前回の計画以降、平成23年度の職員提案による企画書の作成及び東日本大震災の教訓を受け、災害時の備蓄倉庫、避難場所としての防災機能や緊急物資の基地として、復旧・復興の拠点となる施設整備の必要性から、整備計画を再開したものである。



(仮称)西条道の駅整備予定地

整備予定地である古川の遊水地は、西日本最高峰の石鎚山を望む絶好のビューポイントであり、市街地に近接しているながら、日本の重要湿地50選に指定された加茂川河口にも近接した地区にあり、数多くの生物が生育し、鳥類の飛来も確認できる自然環境に優れた場所である。

このようなことから、「水の都西条」をアピールする拠点として、この湧水池を利用した(仮称)古川水辺公園と一体的に整備することで特色ある道の駅となり、集客の面で相乗的な効果が期待できるものと考えている。

液状化対策について問う

(無会派)

問

本市では、古くから瀬戸内海を埋め立て、新田開発や工業化を進めており、地震によって液状化現象が起こることも当然予測されるものである。近い将来には南海大地震などの発生も予測されており、液状化対策は急務であると考えます。そこで、本市においても液状化対策事業の予算が計上されているが、事業の概要について問う。



上空から見た市内臨海部

また、液状化マップ作製後の活用方法など、具体的にどのような対策を行う予定なのか。

答

本事業は、大規模な地震が発生した場合に臨海部において液状化の発生が心配されることから、市内の約36・6平方キロメートルの範囲において液状化対策の検討を行うものである。

具体的な事業の内容については、官民にこだわらず、既存のボーリング調査データを収集し、また、不足する範囲については補足ボーリング調査を行い、データを解析することにより、地

下構造の現状把握を行うものである。また、これらの調査結果を基に、西条市防災対策研究協議会委員の意見を聴きながら、市民に分かりやすい液状化マップを作製し、公表したいと考えている。

液状化マップの作製後は、これを基に液状化対策工法の検討を行う予定であるが、液状化対策は、技術的に個人で行うことが困難であるため、新しい技術の導入など公的にできることについて、西条市防災対策研究協議会の意見を聴きながら検討していきたいと考えている。